

## 第 20 回日本ポリイミド・芳香族系高分子研究会を祝って

東京工業大学名誉教授 今井 淑夫

まず、この日本ポリイミド・芳香族系高分子会議が第 20 回を迎えたことをお祝い申し上げたいと思います。

振り返ってみますと、この研究会議を主催する前身の日本ポリイミド研究会が発足しましたのが、1992 年のことでした。それ以来、この研究会議は連綿として続いて、今回で第 20 回を迎えたわけであります。これほど長くこの研究会議が続くとは、私にとりましては、驚きであるとともに、望外の慶びです。

それでは、まず最初に、「日本ポリイミド研究会とは何なのか」というところから振り返ってみたいと思います。

今から 20 年前の 1992 年秋に、「芳香族ポリイミドの化学構造と高次構造制御」というマイクロシンポジウムが、高分子学会で開催されました。このマイクロシンポジウムの主催者は、ポリイミドの物性研究の第一人者であった元東京大学宇宙航空研究所の神戸博太郎教授の研究室門下の三田達先生と横田力男先生たちでした。このマイクロシンポジウムで、この領域の最新の研究について議論や情報の交換が行われて、大変有意義な会合であり、おおいに盛り上がりました。

その折に、発展の著しいポリイミドとその関連する芳香族系高分子材料の研究の情報交換の場として、またこれに関心のある研究者・技術者間の交流の場として、このような会合を毎年継続してはどうか、ということになったわけです。そして、次のことが決められました。

この会合の母体として任意団体の「日本ポリイミド研究会」を作り、横田先生が所属していた当時の東京大学側と、東京工業大学の今井・柿本研究室が会合の世話をすることになりました。そして、この会合に関心をもって参加した人は誰でもこの研究会に加わることができること、この会合の会議録を「ポリイミド 最近の進歩」と題して毎年継続して発行することなどです。

こうして「日本ポリイミド研究会」は、先の 1992 年の会合を第 1 回「日本ポリイミド会議」と位置づけし、それ以来毎年会議を開催して、そのときの会議録を「ポリイミド 最近の進歩・ 年版」として刊行してきました。その後 2003 年には、この研究会がそれまで実質的にポリイミドとその関連する芳香族系高分子を対象としてきたことを踏まえて、団体名を発展的に「日本ポリイミド・芳香族系高分子研究会」と明文化しました。なお、この研究会議は原則として東京とその近郊で行われてきましたが、ときには地方の豊橋技術科学大学（1998 年）、岩手大学（2003 年）、大津市（2005 年）などでも開催してきました。

つぎに、日本ポリイミド研究会の活動は、ポリイミド会議の主催だけに留まりませんので、次にこれ以外の活動についてふれます。一つは、この研究分野の日本と外国の研究者との交流活動です。1996年から、日本と中国の研究者の間の交流が始まりました。「日中先端芳香族高分子セミナー」として、ほぼ2年に一度、主として中国で開催されてきました。上海(1996年)、桂林(1998年)、成都(2000年)、東京(2001年)、長春(2002年)、杭州(2004年)、東京(2006年)、西安(2008年)、蘇州(2010年)の9回であります。それから、2005年には、韓国において「日韓ポリイミド会議」が行われ、翌年2006年の東京で行われた第7回日中セミナーには、韓国の研究者を招いて拡大会議として開催されました。さらに、2012年には、台湾の台北市で日本と中国と台湾の研究者の交流のセミナーが開催されました。なお、これらのセミナーでは、毎回「日中先端芳香族高分子セミナー予稿集」などが作られ、この予稿集を使ってセミナーが行われてきました。

もう一つのこの研究会としての活動は公式の出版物の刊行です。この日本ポリイミド研究会は10年目の2002年に、総力を結集して「最新ポリイミド・基礎と応用」という書物を刊行しました。この書物は、その後中国で翻訳版が出版され、好評を得ています。次いで2010年に、この書物の改訂版に相当する「新訂最新ポリイミド・基礎と応用」を刊行しました、これらの書物には、まさに最新の情報が網羅されており、広く活用されています。

これらの大部の書物に加えて、この研究会20年目の2012年、「ポリイミド 最近の進歩・DVD版」を刊行しました。これはポリイミド研究会が発足してから今までの活動を総括した記念出版です。このDVD版には、日本国内で行われたポリイミド会議の会議録「ポリイミド 最近の進歩・ 年版」と、日本と中国の交流の際の「第 回日中先端芳香族高分子セミナー予稿集」と、「日韓ポリイミド会議要旨集」という三種の書物がすべて収録されています。まさに、日本ポリイミド研究会20年の活動の総集編です。

このポリイミド研究会の総集編のDVD版の価値についてみますと、「ポリイミド 最近の進歩・ 年版」を通覧することにより、日本の中でのこの領域の研究が着実に進歩していることを確かめることができるという利点があります。今までは一個人でこれら全部を通覧することはなかなか困難でありましたが、それが一枚のDVDだけで叶うこととなります。

また、「第 回日中先端芳香族高分子セミナー予稿集」は、中国の1996年から現在に至るまでのこの研究の流れを知ることのできる非常に貴重な資料である、と言えます。中国のこの研究分野の生の情報がこの一枚のDVDから得られることとなります。

是非ともこの「ポリイミド 最近の進歩・DVD版」の活用をお願いしたいと思いません。

最後になりましたが、「日本ポリイミド・芳香族系高分子研究会」が発足以来 20 年の長きにわたって活動を続けてこられましたことは、私にとりましては、まさに驚きであります。これは、ひとえに横田力男先生と柿本雅明先生の情熱の賜物であり、お二人の献身的な努力に心から感謝したいと思います。もちろん、それぞれの研究会議を支えて下さった多くの世話役の方々や、研究会議に参加して会合を盛り上げて下さった多くの皆様のご支援があつての上のことであり、皆様に感謝したいと思います。

この研究会の今後の継続と更なる発展を強く願いつつ、私のお祝いの言葉を終わります。